

議会報告会 記録（概要） 報告書（民教1班）

開催日時	令和6年11月13日（水） 午後1時35分 ～ 午後2時25分			
開催場所	日光市立豊岡中学校			
班 員	亀井崇幸(班長)	斎藤久幸(副班長)	福田悦子	齊藤正三
学校・クラス・人数	3年1組 21名			
議会報告会の内容	1. 説明（議会報告会の趣旨、議会の役割） 2. グループワーク（テーマ：「あなたは市議会議員です。日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください。」） 3. グループごとに発表 4. 議員によるまとめ（総評）			
生徒からの質疑・意見・課題など			報告会の中で出た解決方法など	
- 働く場所（企業誘致）をすることにより、人口が増え税収が上がり、市が栄えそのことにより、子育て支援等の社会サービスが良くなっていく。 - グランピング施設を建設し観光振興に繋げる。 - 市の財源を軽減するため、民間委託できる部分は、民間委託する。 - 日光市のいろいろな社会保障サービスをSNSを活用し、多くの人に知ってもらう。			企業誘致の意見については、人口減少対策の為に、全議員が共通認識を持って早急に取り組んでいく必要があるため、今後議論を深めていかなければならないと思う。また、観光振興対策においても、稼げる観光とは何かの議論を行い、選ばれる観光地を造っていかねばならないし、そのためには、観光部門の民間委託の導入も視野に入ってきているのではないかと思います。	
【班としての総括・今後の方向性】				
今回の中学生との意見交換を通じ、中学生が、政治や議会・行政を知るとてもよい機会になったと思います。さらに、私たち議員が、これからの日光市を担う若者の意見を聞くことで、議員は、これから市に対しての施策提案のヒントを得ることができ、双方の学びとなり大変、有意義な時間でありました。今後につきましても若い世代との意見交換を実施し、若者ならではの斬新な意見を得る必要があると感じました。				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和6年12月12日
班長 亀井 崇幸

議会報告会 記録（概要） 報告書（民教1班）

開催日時	令和7年1月29日(水) 午前10時45分～午前11時35分			
開催場所	日光市立今市中学校			
班 員	亀井崇幸(班長)	斎藤久幸(副班長)	福田悦子	齊藤正三
学校・クラス・人数	3年3組 34名			
議会報告会の内容	1. 説明（議会報告会の趣旨、議会の役割） 2. グループワーク（テーマ：「あなたは市議会議員です。日光市の予算を使い、人口を増加させる取り組みを市に提案してください。」） 3. グループごとに発表 4. 議員によるまとめ（総評）			
生徒からの質疑・意見・課題など			報告会の中で出た解決方法など	
・移住者が増えるような支援制度を拡充する。 ・教育環境については、良くなってきており、これからは、起業・創業や子育て支援に予算を充てるべきではないか ・国の税制改正を行い、地方に交付できる税の割合を多くすることにより、市の財源が増え住民サービスが良くなり、人口増加に繋がる。 ・公共交通機関のアクセスを良くしてもらいたい。そのためには、市民がもっと電車・バスを利用すべきだと思う。 ・県が打ち出した日光のロープウェイ計画は中止すべきだと思う。理由は、日光の物産店等がダメになってしまう。解決策は、中禅寺湖周辺の駐車場を拡張すれば良いのではないか。			・移住者支援については、支援制度の拡充を検討すべきである。 ・教育環境については、今後についても充てるべきと思うが、起業・創業や子育て支援については、予算増額をすべきだと思う。 ・税制改正については、中学生がこのように考えていることを、国に挙げるべきではないかと思う。 ・公共交通機関の問題については、市でできることは、電車・バスの利用促進を市民に促すことではないか。そのことがアクセスの改善に繋がるのでないか。 ・ロープウェイの問題については、次代を担う中学生の意見であることを重く捉え、市として今後の方向性を考えるべきではないか。	
【班としての総括・今後の方向性】				
今回の中学生との意見交換を通じ、中学生が、これほど今の日光市の抱えている問題を考え、また、その改善に向けてこうしたほうが良いのではないかといったしっかりした考えをもっていることに驚きました。特に税金の問題や、ロープウェイ建設に向けた意見については、今後、議会として議論をしていく必要があると思います。いずれにせよ、双方の学びとなり大変、有意義な時間でありました。今後につきましても若い世代との意見交換を実施し、若者ならではの斬新な意見を得る必要があると感じました。				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和7年1月30日
班長 亀井 崇幸